

B 次の史料を読んで問いに答えよ。

(一) 常用漢字を用いて、全文を読み下せ。

(二) 全文を現代語に訳せ。

(三) 本史料に記されていることについて、知るところを述べよ。

大政官符

應准舊例令^一交戒事

石得院^一應准舊例令^一交戒事
天治元年二月廿七日格^一准傳燈
大律師^一取證表^一傳^一天治元年分度者二人每
年春三月元帝國忌日於^一敬西令^一得度交戒^一便^一十二年
不聽^一出山^一謹^一副^一列^一式^一上^一聞^一者^一右^一大臣^一宣^一奉^一勅^一直^一奉^一表^一
者^一今^一准^一格^一交^一年^一分^一得^一度^一交^一戒^一此^一長^一例^一之^一事^一也^一亦^一嚴^一團^一信^一
迴^一交^一夫^一戒^一同^一裁^一列^一式^一立^一為^一恒^一例^一是^一以^一僧^一示^一沙^一赫^一應^一交^一
表^一狀^一申^一官^一即^一被^一裁^一下^一以^一令^一交^一戒^一而^一項^一年^一季^一罷^一更^一申^一宣^一旨^一
事^一既^一重^一疊^一物^一煩^一相^一春^一望^一請^一自^一今^一以^一後^一准^一舊^一例^一令^一交^一
戒^一但^一逾^一辭^一交^一二^一紙^一一^一紙^一留^一官^一一^一紙^一下^一寺^一以^一為^一長^一例^一謹^一請^一
一^一官^一裁^一者^一申^一納^一言^一宜^一左^一進^一衛^一六^一將^一薩^一由^一出^一相^一按^一交^一不^一使^一藤^一原^一
朝^一旨^一具^一經^一宣^一依^一請^一

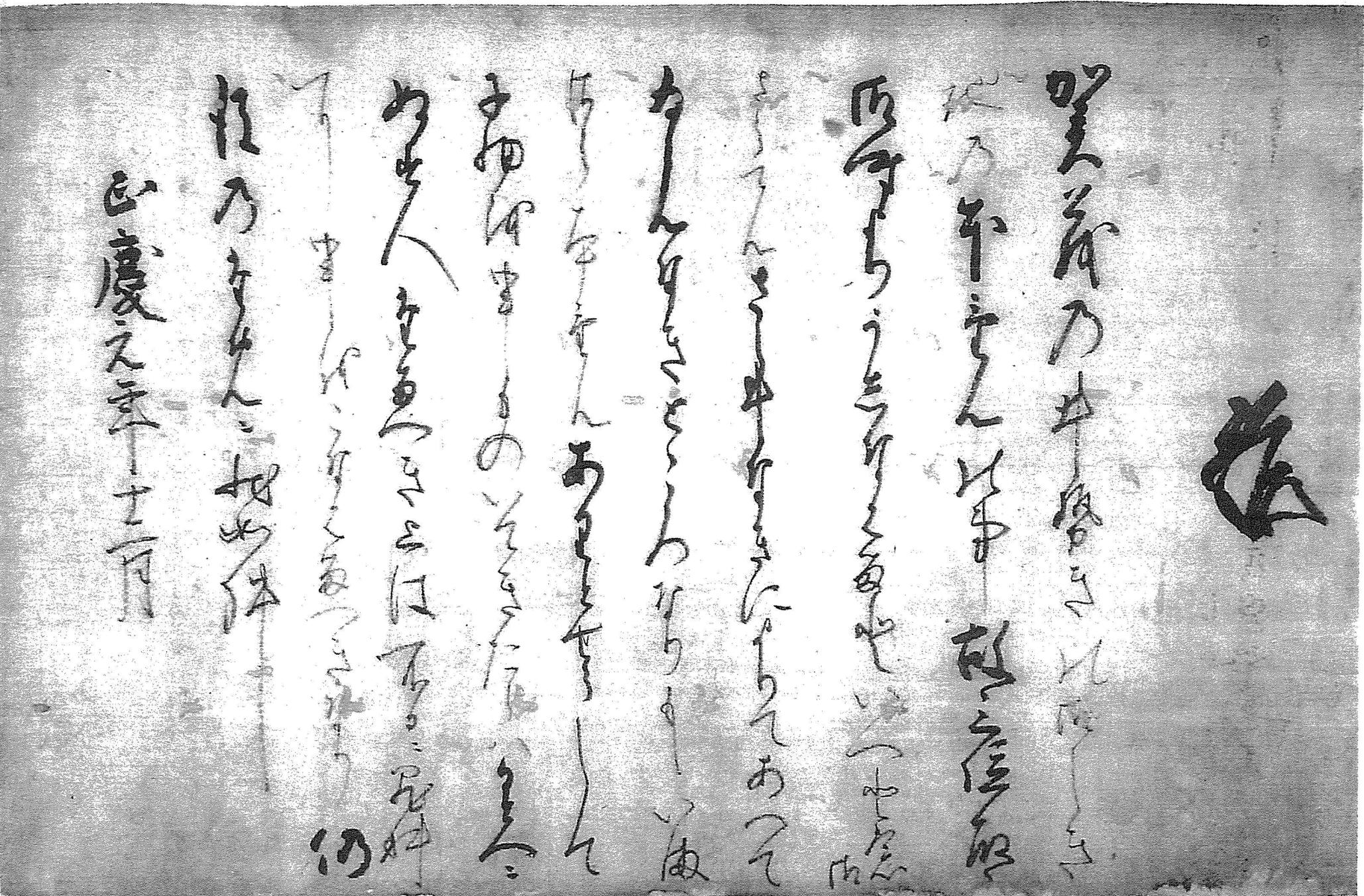
貞觀十一年四月十六日

※Web掲載に際し、左のとおり出典を追記しております。
『尊経閣善本印影集成37 類聚三代格 1』所収『類聚三代格 1』
八木書店、2005、前田育徳会所蔵

問「二」(中世) 次のA・B・C三問に答えよ。

A (1) 左の史料の釈文を記せ。

(2) 左の史料の大意を記せ。



※Web掲載に際し、左のとおり出典を追記しております。

B (1) 左の史料の積文を記せ。紙背の文字は起こさなくてよい。
(2) 左の史料はどのような目的で作成された史料か。簡潔に述べよ。

慶

一 初日太左衛門尉藤原朝臣

康永二年閏十月廿七日 康永二年閏十月廿七日

乙未年十月廿七日 乙未年十月廿七日

乙未年十月廿七日 乙未年十月廿七日

康永二年三月廿七日 康永二年三月廿七日

一 新田氏首領日登原信朝

乙未年十月廿七日 乙未年十月廿七日

一 大正三月廿七日

乙未年十月廿七日 乙未年十月廿七日

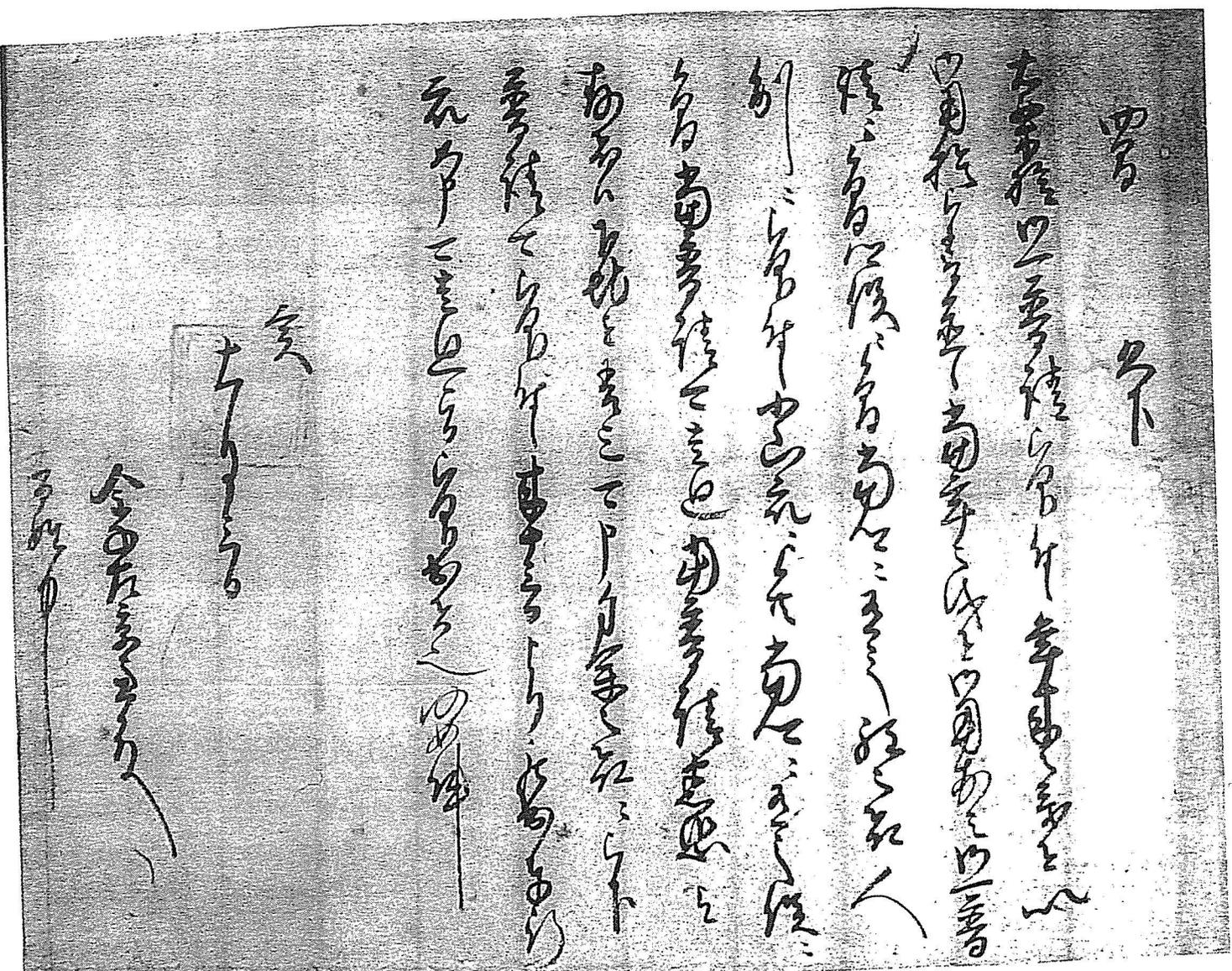
乙未年十月廿七日 乙未年十月廿七日

乙未年十月廿七日 乙未年十月廿七日

乙未年十月廿七日 乙未年十月廿七日

※Web掲載に際し、左のとおり出典を追記しております。
早稲田大学図書館所蔵

- C
- (1) 左の史料の釈文を別紙解答用紙に記せ。
 - (2) 左の史料の内容を述べよ(字数は任意)。



問「三」(近世) 次のA・B二問に答えよ。

A 次の史料は、弘化元年のオランダ国王による開国勧告に対する日本側の回答で、徳川家代々の通信・通商の基本方針が示されている。これを読んで設問に答えよ。

- (1) 左の史料を要約せよ。
- (2) 幕末期に至るまで、幕府と諸藩がとった対応策について述べよ。

我國往昔より海外
 通商は諸國少かり
 所より小田海泰平に
 治り法則を傳り朝
 鮮琉球は外に信を
 通はるもはるし
 然るに國支那は年久
 しく通商を志し是
 らも信は通はるま
 りて其能事去秋
 其國王より書簡を
 越しにるると厚意を
 示すありて又は其書に
 則信を通しはる事

にして祖宗は嚴禁
 以て是れ我の私事
 ありて通商は法に及
 びしは我の私事と
 多年通商の好し
 我忘れず至誠は彼
 にも心は通はるし
 是れ其志の程なり
 今釋及し其書を
 禮節を失ふ且誠意
 に度は依りて
 重複(書)を送て其
 厚意を謝し又其書
 越しにるると厚意を
 示すありて又は其書に
 則信を通しはる事
 意に任る納せしむ

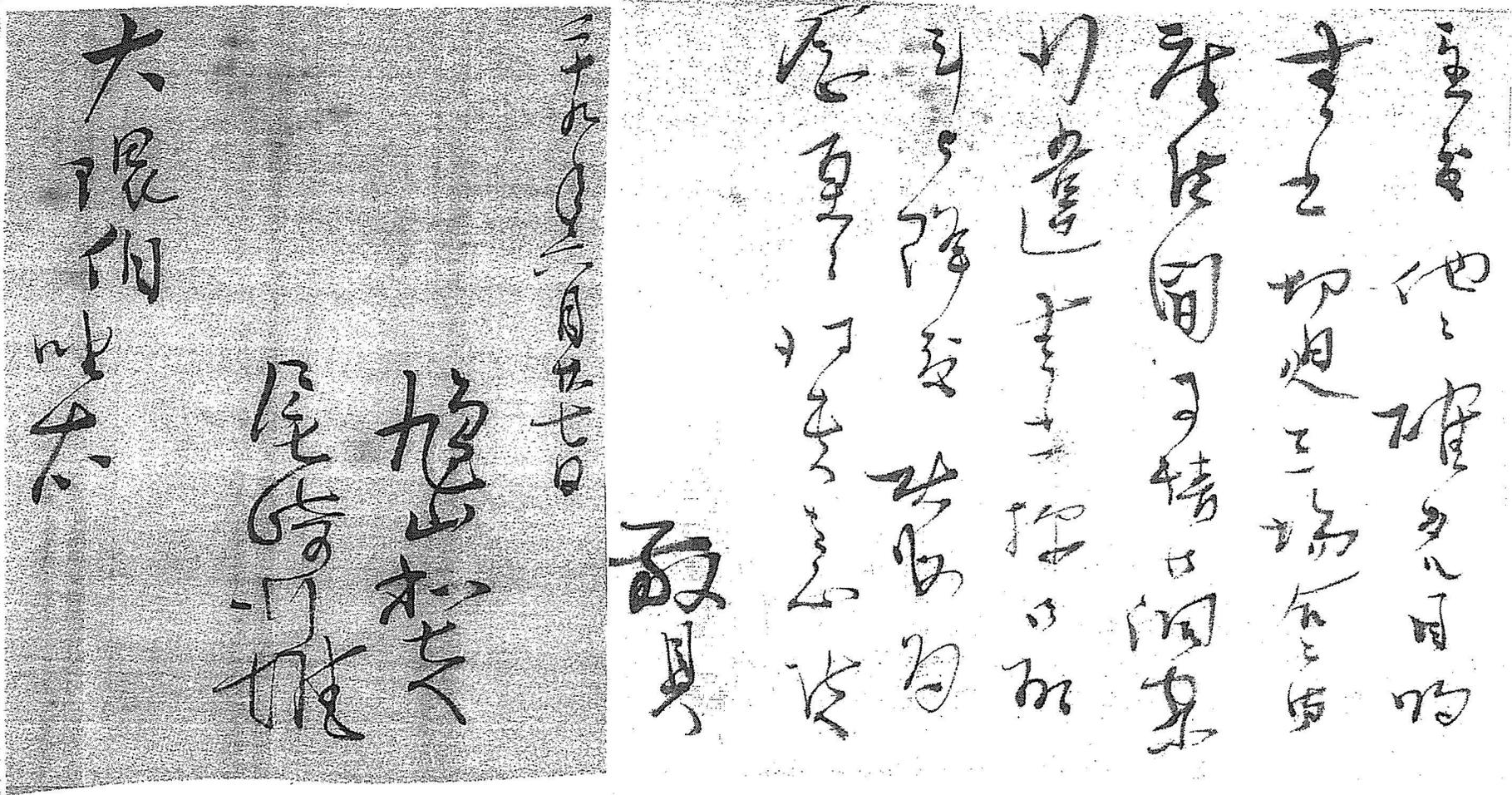
純く是れ是れを會釋
 せしは國庫の事と違
 ちしは是れは後來は
 書簡を越しにる事
 ありて其書にありし
 封を閉りては通し
 せしは是れは是れを
 似ありしは是れを
 其書に祖宗歴世の
 法を變はる事と違
 以て他日再び是れを
 示すありて是れは書簡
 お贈りせしむ事と違
 意に任る納せしむ
 能心は本國(書)を

※WEB掲載に際し、以下のとおり出典を追記しております。
 National Archives of the Netherlands,
 Inventaris van de archieven van de Nederlandse Factorij in Japan te Hirado [1609-1641] en te Deshima, [1641-1860], 1609-1860,
 catalogue reference 1.04.21,
 inventory number 1715 Brief van de Shogun van Japan aan de Koning de Nederlanden, in Japane karakters; met een Nederlandse vertaling,
 ondertekend en gestempeld door drie tolken, "geschreven en afgegeven te Jedo door de Keizerlijke Raadsheeren in de maand Rokgoets van
 het jaar tweede Kookwa mi". (1845 juli 4)

問「四」(近・現代) 次のA・B二問に答えよ。

A 次の史料を読み、設問に答えよ。

謹啓 貴世の日の不快
中 少和之候に候はせ給
奉 下 一条早蓮
少 竹之答と下 竹之
奉 此 遊談と 奉
討 画と 遊談と 奉
先 取 一名 出 張 為 陪
其 尚 来 月 日 一 奉
陪 出 給 奉 奉
其 就 奉 奉 奉
奉 奉 奉 奉
奉 奉 奉 奉



- (1) 書簡全文を翻刻しなさい。
- (2) 差出人二名について、各人五〇字程度で知るところを述べなさい。
- (3) 書簡の内容について、当該期の差出人の所属政治党派の状況を踏まえて、一〇〇字程度で解説しなさい。
- (4) 書簡が作成された時期の政治情勢について、内閣と諸政党との関係を軸に、一〇〇字程度で述べなさい。

多敷座置の申書は、個人として、
 のと申書あり、その白鳥とて、
 ます、山崎、
 下ると、
 申書の事と、
 津田三郎

※Web掲載に際し、左のとおり出典を追記しております。
 『岩波茂雄への手紙』岩波書店編集部
 岩波書店 2003年 執筆者 津田左右吉

- 一 この史料の全文を翻刻せよ。
- 二 この書簡の差出人について知るところを二〇〇字程度で記せ。
- 三 この書簡の受取人について知るところを二〇〇字程度で記せ。
- 四 この書簡の書かれた当時の政治状況について二百字程度で記せ。

——これより先の余白には絶対に記入しないこと——